

Leaders
in Trusted
Technologies

NISSHA

2025年12月期
第2四半期（中間期）
決算説明会

2025年8月6日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 最高経営責任者
鈴木順也

ハイライト

2025年12月期 第2四半期（H1）の実績

● Tailwinds

- 売上高、営業利益：前年同期比で減収減益も、期初想定を上回る
- 産業資材、メディカルテクノロジー事業 医療機器CDMO：需要堅調
- デバイス：タブレット需要が想定を上回る
- 医薬品：滋賀県製薬が業績貢献

● Headwinds

- 期末の為替レートが前期末（12月末）比 円高で着地、為替差損が発生

2025年12月期（通期）の見通し

- 売上高、営業利益：変更なし
- 税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益：H1計上の為替差損を反映、通期予想を修正
- H2想定為替レート：140円/USD
- アメリカ関税引き上げの影響は限定的（地産地消のビジネスモデル、価格転嫁など）

2025年12月期 H1（6カ月）の実績

(百万円)

	2024 H1 実績	2025 H1 実績	前年同期比 (2024 H1比)
売上高	99,661	97,049	▲2.6%
産業資材	37,220	37,570	+0.9%
デバイス	36,273	29,752	✓ ▲18.0%
メディカルテクノロジー	22,024	23,459	+6.5%
その他	4,142	6,267	+51.3%
うち、医薬品	891	3,427	✓ +284.6%
営業利益	4,266	2,693	▲36.9%
営業利益率	4.3%	2.8%	-1.5pt
産業資材	2,699	2,169	▲19.6%
デバイス	1,873	1,097	▲41.4%
メディカルテクノロジー	1,028	1,267	✓ +23.2%
その他	▲ 420	365	黒字化
調整額	▲ 915	※1 ▲ 2,205	-
税引前利益	6,007	※2 1,218	▲79.7%
親会社の所有者に帰属する 中間利益	4,258	129	▲97.0%
為替レート（平均）	¥148/\$	¥149/\$	
為替レート（直前期末→当該期末）	¥142/\$→¥161/\$	¥158/\$→¥145/\$	

※1 為替差損▲4.5億円含む ※2 為替差損（金融費用）▲8.5億円含む
 ©2025 Nissha Group

2025年12月期 Q2（3カ月）の実績

Leaders in Trusted Technologies

(百万円)

	2024 Q2 実績	2025 Q1 実績	2025 Q2 実績	前年同期比 (2024 Q2比)	前四半期比 (2025 Q1比)
売上高	52,942	47,442	49,606	▲6.3%	+4.6%
産業資材	19,379	18,785	18,785	▲3.1%	+0.0%
デバイス	19,704	13,558	16,193	▲17.8%	+19.4%
メディカルテクノロジー	11,954	11,948	11,510	▲3.7%	▲3.7%
その他	1,904	3,149	3,117	+63.7%	▲1.0%
うち、医薬品	482	1,676	1,751	+263.3%	+4.5%
営業利益	3,007	1,509	1,184	▲60.6%	▲21.5%
営業利益率	5.7%	3.2%	2.4%	-3.3pt	-0.8pt
産業資材	1,549	1,041	1,127	▲27.2%	+8.3%
デバイス	1,441	865	232	▲83.9%	▲73.2%
メディカルテクノロジー	663	669	597	▲10.0%	▲10.8%
その他	▲ 151	192	172	黒字化	▲10.4%
調整額	▲ 494	▲ 1,260	※1 ▲ 945	-	-
税引前利益	4,336	663	※2 554	▲87.2%	▲16.4%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	3,050	87	41	▲98.7%	▲52.9%
為替レート（平均）	¥152/\$	¥153/\$	¥145/\$		
為替レート（直前期末→当該期末）	¥151/\$→¥161/\$	¥158/\$→¥150/\$	¥150/\$→¥145/\$		

産業資材：2025Q2実績、H2見通し

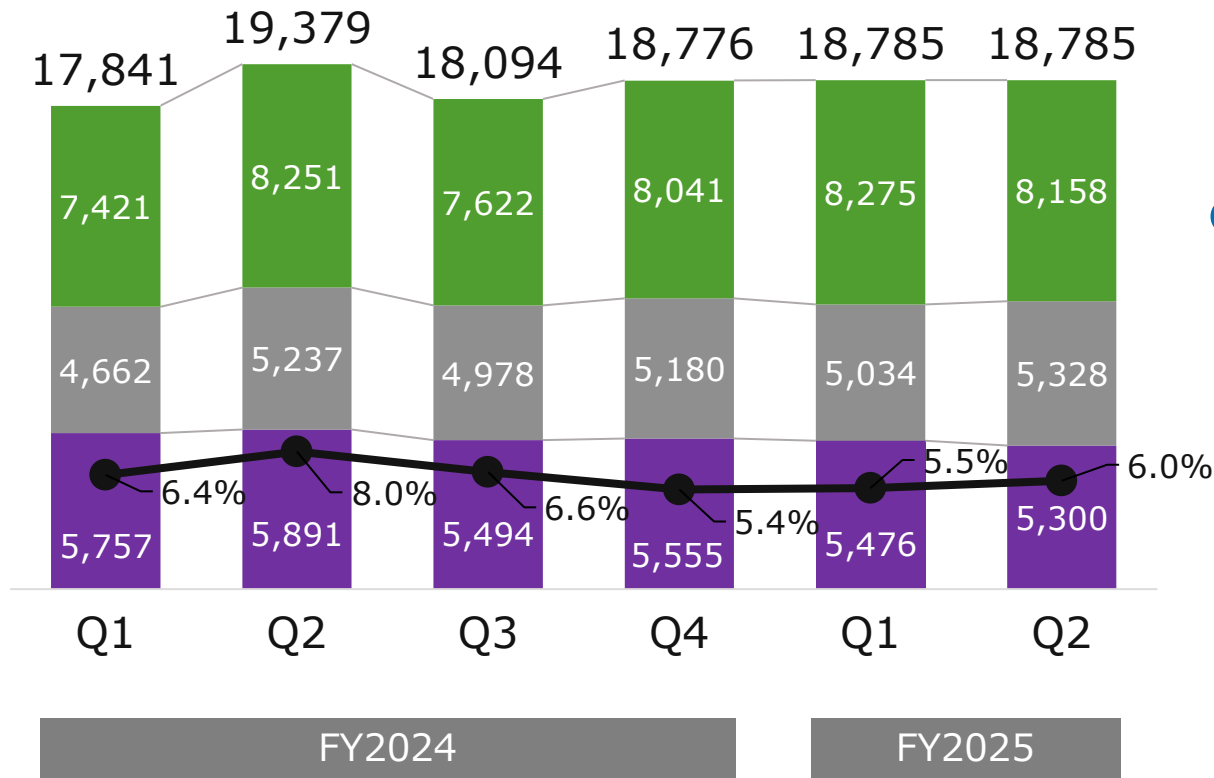
四半期別 売上高・営業利益率

■ サステナブル資材（蒸着紙など） ● 営業利益率

■ 加飾（家電その他）

■ 加飾（モビリティ）

(百万円)



● Q2実績（為替レート：¥145/\$）

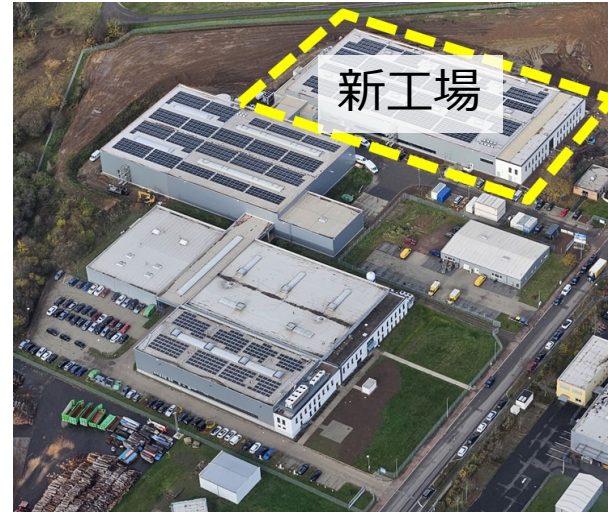
- 加飾：モビリティ、家電その他ともに底堅く推移
- サステナブル資材（蒸着紙）：需要堅調

● H2見通し（想定為替レート：¥140/\$）

- 加飾：需要継続、モビリティ外装向けの量産開始
- サステナブル資材：季節要因の需要減少（想定通り）
- 営業利益：収益性を維持

加飾（モビリティ）：外装向けで成長加速

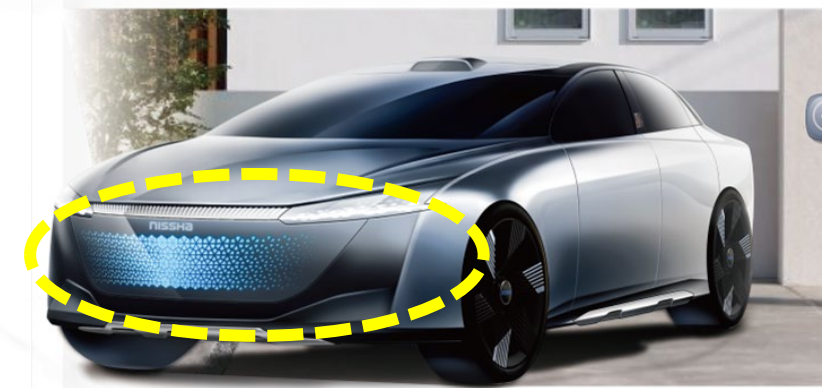
- 量産開始：地域拡大
 - ドイツ（2025年Q4）
 - 日本（2026年Q2）
- 新規受注：拡大
 - リアライト向けで増加



新工場

ドイツ チューリンゲン州

リアライト



フロントグリル

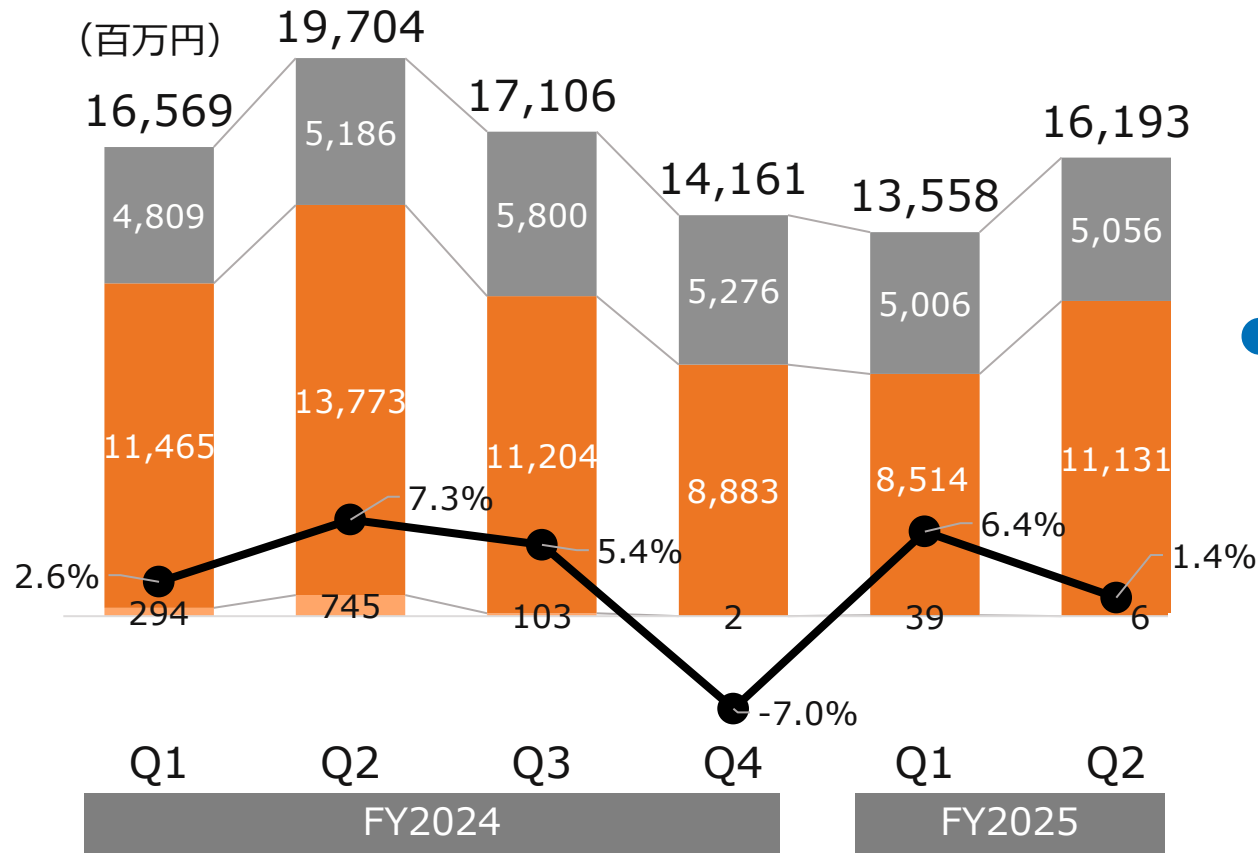
アプリケーションが拡大
ヘッドライト



デバイス：2025Q2実績、H2見通し

四半期別 売上高・営業利益率

- 業務用端末（物流関連）・モビリティ向け、ガスセンサーなど
- タブレット向け
- スマートフォン向け
- 営業利益率



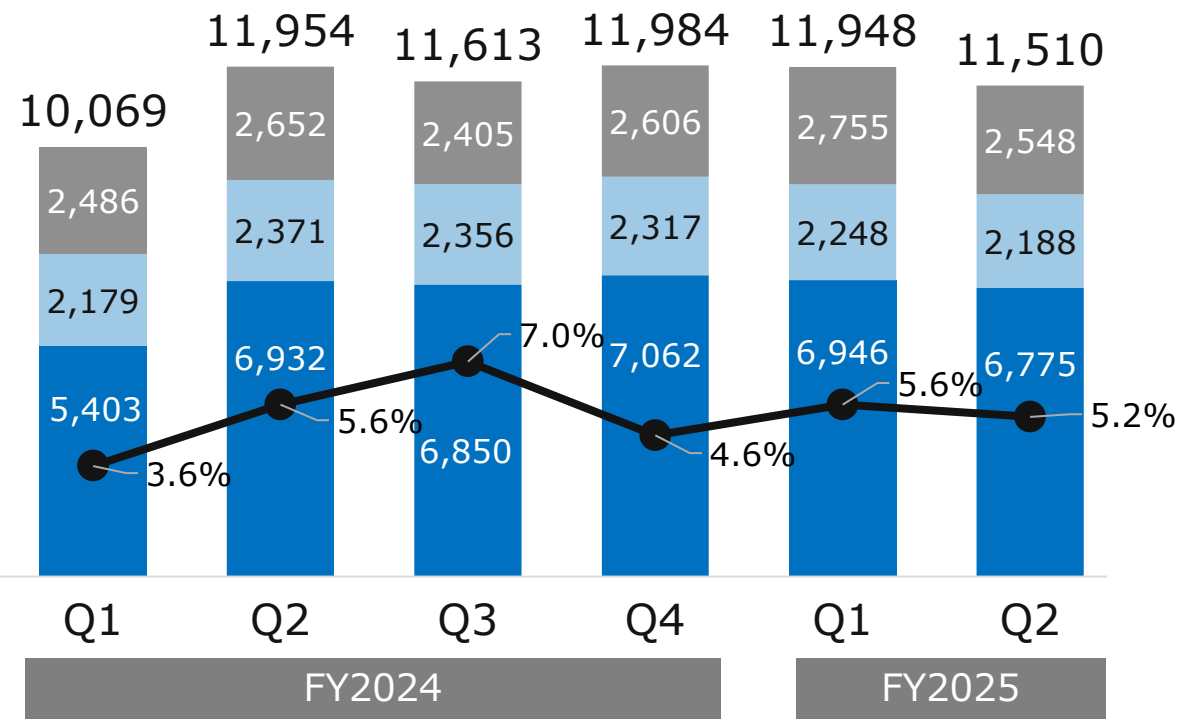
- Q2実績（為替レート：¥145/\$）
 - タブレット：アメリカ追加関税実施前の需要増加
 - 営業利益：
 - 生産稼働が減少（製品在庫による売上高計上）
- H2見通し（想定為替レート：¥140/\$）
 - タブレット：H1の反動減
 - 営業利益：当初想定通り4.1%

メディカルテクノロジー：2025Q2実績、H2見通し

四半期別 売上高・営業利益率

■ ビジネスメディア ● 営業利益率
 ■ 医療機器（自社ブランド）
 ■ 医療機器（CDMO）

(百万円)



● Q2実績（為替レート：¥145/\$）

- 医療機器（CDMO）：需要堅調
- 医療機器（自社ブランド）：需要減速、製品ミックス悪化が継続
- 営業利益：
 - CDMOは収益性維持
 - 自社ブランドの収益性悪化

● H2見通し（想定為替レート：¥140/\$）

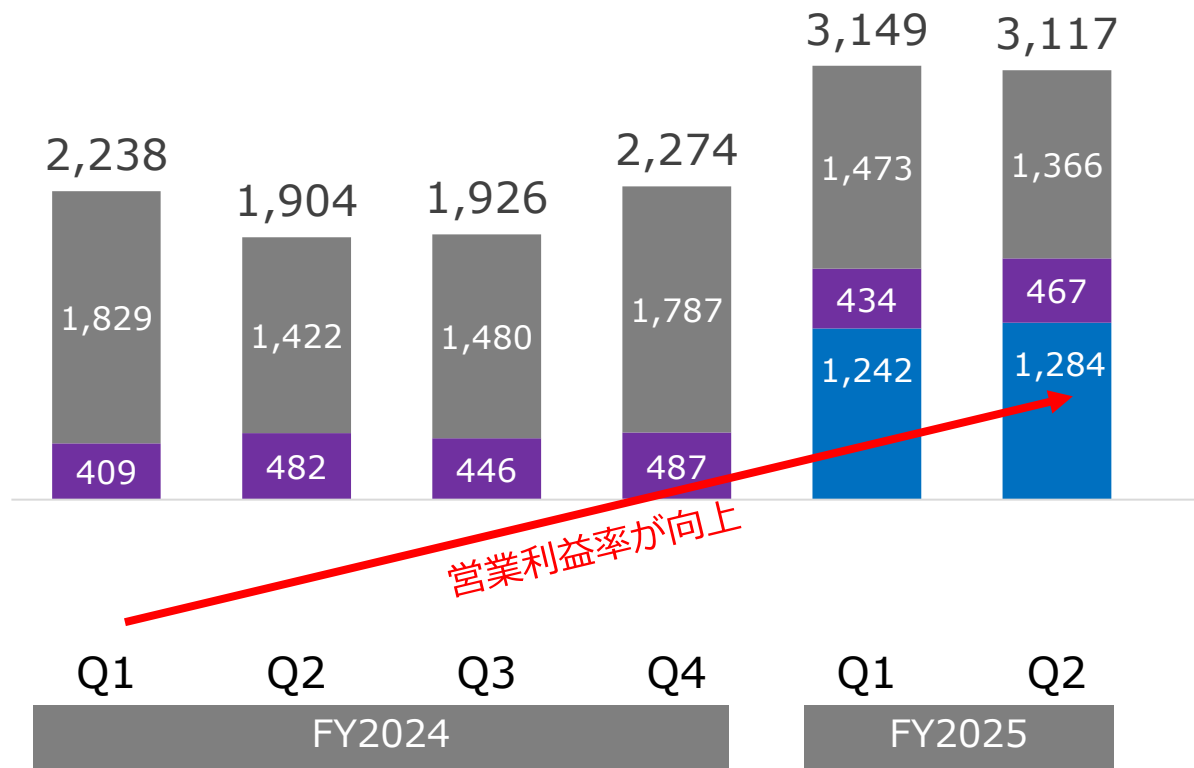
- 医療機器（CDMO）：需要増加
- 営業利益：自社ブランドなど収益性の低い領域で固定費削減（完了）

その他：2025Q2実績、H2見通し

四半期別 売上高・営業利益率

- 情報コミュニケーションなど
- 医療用医薬品など
- OTC医薬品CDMO（滋賀県製薬）

(百万円)

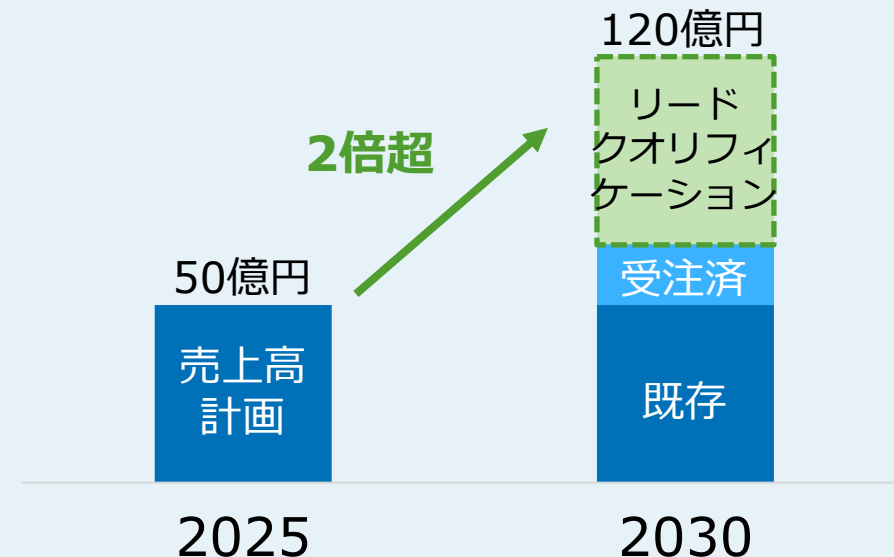


NISSHA

- Q2実績（為替レート：¥145/\$）
 - 医薬品：需要堅調
- H2見通し（想定為替レート：¥140/\$）
 - 医薬品：堅調需要が継続

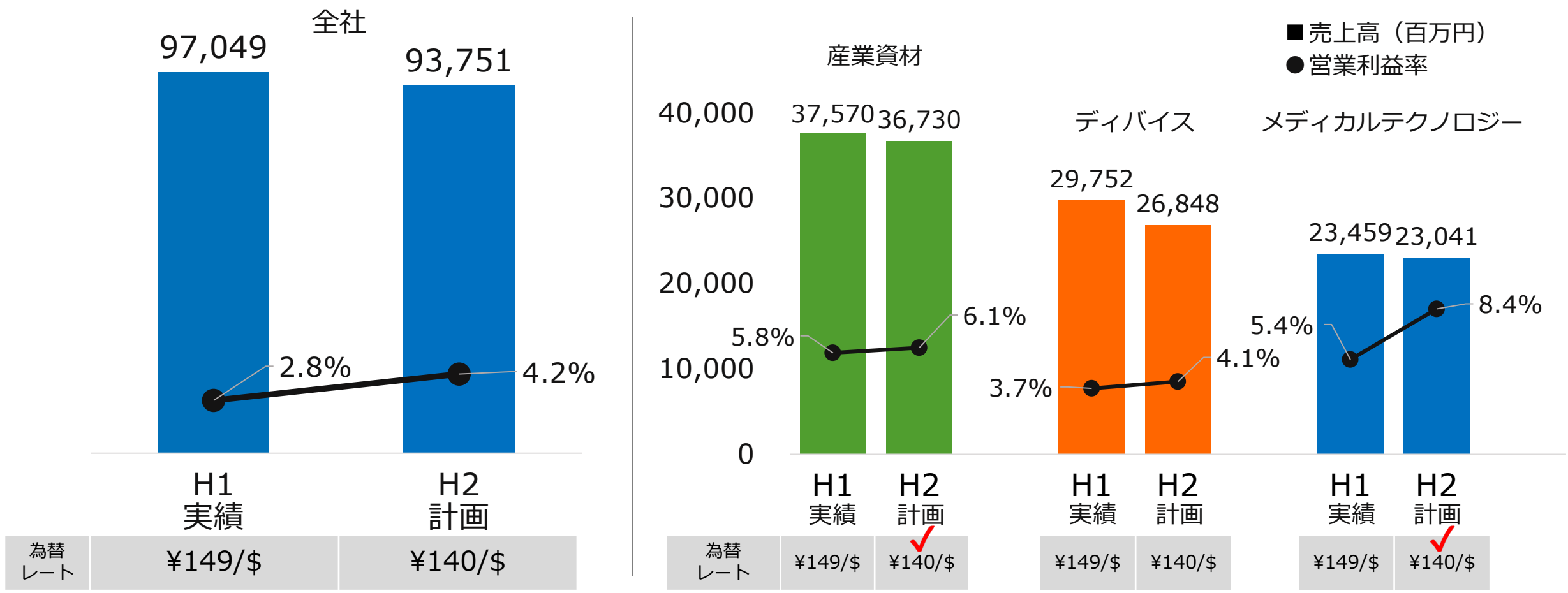
OTC医薬品CDMO（滋賀県製薬）

- 当社の生産能力拡張に対するお客さまの期待が一段と高まる



2025年 H2計画

- H1比 減収増益を計画
- 産業資材：サステナブル資材（蒸着紙）が需要減少も、加飾の需要は継続、収益性を維持
- デバイス：タブレット向けの需要はH1の反動減も、生産性が改善
- メディカルテクノロジー：医療機器CDMOは堅調需要が継続、自社ブランドなどで収益性改善



2025年12月期 業績計画

● 全社の売上高、営業利益は変更なし、H1に発生した為替差損などを反映し税引前利益以下を修正

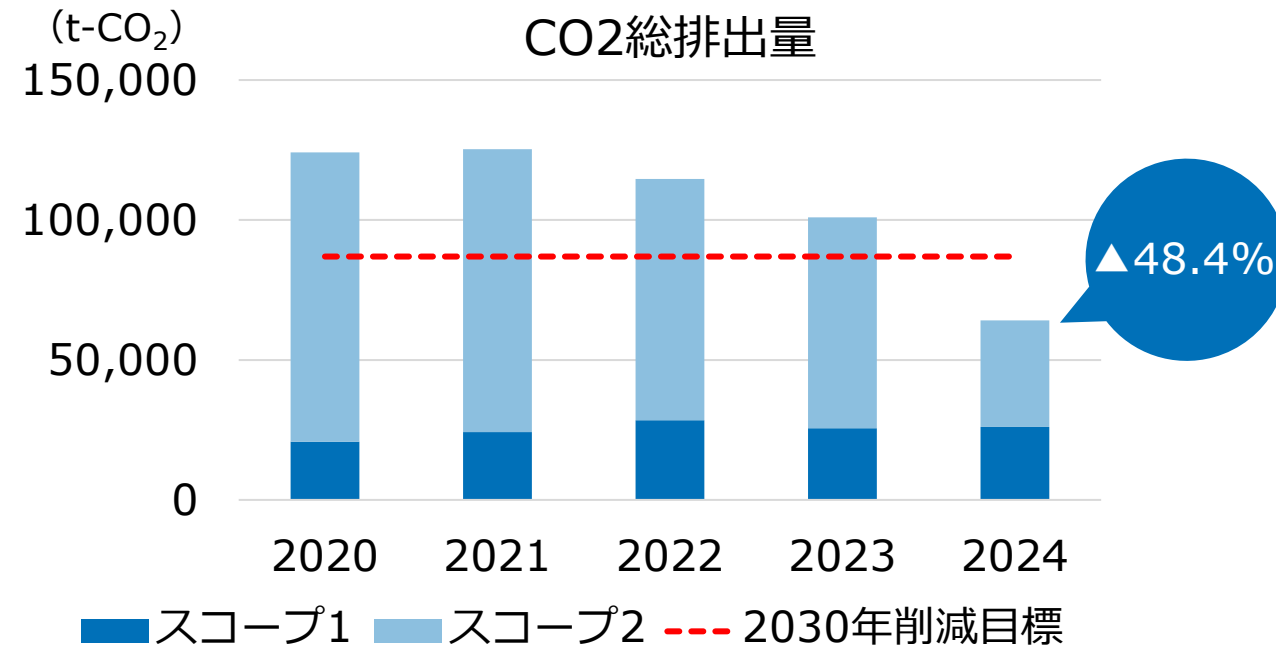
	前回計画（5/9発表）			今回計画（8/6発表）		
	FY2025 通期 計画	FY2025 H1 計画	FY2025 H2 計画	FY2025 通期 計画	FY2025 H1 実績	FY2025 H2 計画
売上高	190,800	92,400	98,400	190,800	97,049	93,751
産業資材	75,700	37,400	38,300	74,300	37,570	36,730
デバイス	55,200	25,600	29,600	56,600	29,752	26,848
メディカルテクノロジー	46,500	22,800	23,700	46,500	23,459	23,041
その他	13,400	6,600	6,800	13,400	6,267	7,133
うち、医薬品	6,900	3,400	3,500	6,900	3,427	3,473
営業利益	6,600	2,100	4,500	6,600	2,693	3,907
営業利益率	3.5%	2.3%	4.6%	3.5%	2.8%	4.2%
産業資材	5,300	2,400	2,900	4,400	2,169	2,231
デバイス	1,100	0	1,100	2,200	1,097	1,103
メディカルテクノロジー	3,200	1,500	1,700	3,200	1,267	1,933
その他	500	100	400	700	365	335
調整額	▲ 3,500	▲ 1,900	▲ 1,600	▲ 3,900	▲ 2,205	▲ 1,695
税引前利益	5,700	1,600	4,100	4,600	1,218	3,382
親会社の所有者に帰属する 当期（中間）利益	4,000	800	3,200	2,500	129	2,371
為替レート	¥143/\$	¥146/\$	¥140/\$	¥144/\$	¥149/\$	¥140/\$

サステナビリティ（気候変動への対応）

● CO2総排出量：

2030年削減目標を前倒しで達成

- 2025年度は新たな目標を検討
- 国内の省エネルギー施策や海外生産拠点の再生可能エネルギー施策を推進



● CDP

- 「気候変動 A-評価」を獲得
 - 8段階のうち上位2番目
 - 気候変動への取り組みや情報開示が評価
- 「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に選定
 - 最高評価
 - サプライチェーンにおける気候変動への取り組みが評価



情報開示の充実と外部評価

- 2025年版 発行
 - Nissha Report（統合報告書）
 - CEOメッセージを核とし、NISSHAグループの強みを活かした価値創造の考え方を示す
 - サステナビリティレポート
 - 非財務情報の詳細を網羅的に掲載

- 2024年版 外部評価で評価を獲得



Nissha Report 2025
(統合報告書)



NISSHAサステナビリティレポート
2025



年金積立金管理運用
独立行政法人

「優れた統合報告書」に選定

(ご参考) ESGに対する当社の外部評価

● ESG評価機関

- MSCI ESG Ratings「AA」評価



● 指数・インデックス

- GPIFが採用するESG 6指数のうち5指数に採用
 - FTSE Blossom Japan Index
 - FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
 - MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数
 - S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数
 - Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index
- その他
 - SOMPO サステナビリティ・インデックス
 - 健康経営優良法人
 - くるみん認定



FTSE Blossom
Japan Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



2025 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数



(ご参考)
設備投資・減価償却費及び償却費・M&A投資・
研究開発費（2025年）

（百万円）

	第1四半期 （1-3月） 実績	第2四半期 （4-6月） 実績
設備投資	3,033	3,413
減価償却費 及び償却費	2,429	2,405
M&A投資	9,500	291
研究開発費	1,034	1,051

Leaders in Trusted Technologies

本プレゼンテーションに掲載されている情報および決算説明会・カンファレンスで提供される情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、その他過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性があります。